

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)						
ES12B001	教育法規の解釈・運用に関する実践研究(Practical Research on Education Laws)					学校経営コース科目						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修	2	1	大学院教育学研究科			氏名 雪丸武彦、小池一彦 E-mail 内線						
授業の概要	本授業科目では、教育法規の基本事項の原理を理論的に学ぶとともに、学校実務における教育法規の解釈・運用の事例を題材とした双方向的な演習に取り組むことで、現状の課題を発見し、具体的な対応策を立案・検討する能力を養う。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1 2 3 4 5 6 7 8 9 10						
目標1	教育法規の基本事項について深い理解を有する。											
目標2	教育法規に関し学校現場の事例を題材として現状の課題を発見する。											
目標3	教育法規に関し発見した課題について具体的な対応策を立案・検討する。											
目標4	学校実務における教育法規の解釈・運用に関する実践的知識について深い理解を有する。											
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	授業テーマに関する学校の具体的課題の理解											
2	スクールリーダーと法 教育法規の読み方と法解釈の方法											
3	スクールリーダーと法 教育法規をめぐる改革動向とポイント											
4	スクールリーダーと法 教職員の要求と対応											
5	事例読解 教育課程											
6	事例読解 成績・指導要録											
7	事例読解 体罰と懲戒権											
8	事例読解 校則											
9	事例読解 いじめ											
10	事例読解 学校事故(校内)											
11	事例読解 学校事故(校外)											
12	事例読解 特別支援教育											
13	事例読解 教員の仕事と健康											
14	事例読解 教員の懲戒・分限											
15	学習成果の発表と総括											
ラ イ ク ニ テ ン イ グ	A:知識の定着・確認	ミニッツペーパー, 時間外学習, 調査, 話し合い, ケースメソッド			工 夫 そ の 他 の							
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	事前課題に対してレポートを執筆する(1h)										
	事後学修											
教科書	特になし。授業中に指示する。											
参考書	学校管理運営法令研究会 『第六次全訂 新学校管理読本』第一法規, 2018年。											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度, 課題に取り組む姿勢, 討論への参加など)	60%										
	最終レポート(本授業において学んだ事や今後解決すべき課題など)	40%										
注意事項	・本授業においては教員集団のメンバーとしての自覚を持ち、メンタリングの観点から、経験の豊富な者は経験の少ない者の成長をサポートするよう努力すること。また、経験の少ない者は経験の豊富な者に積極的に教を請うこと。											
備考												
リンク	URL											